

夏休みが終わり、いよいよ授業！

～夏休み前後の生徒集会の話まとめ～

【夏休み前「生徒集会」7月18日の話より抜粋】

7月26日（金）から、パリ・オリンピックが始まります。私は、日本代表でオリンピックに出場する人は、誰よりも「真剣」に取り組み、「努力」を積み重ねており、我々に「頑張ること」の大切さ・素晴らしさを、教えてくれると思います。是非、テレビ放送を見て！それぞれの選手の血のにじむような「努力」を感じてほしいです。

バレーボール男子日本代表キャプテン石川祐樹選手の名言

- 「トライしていかないと何も始まらない。」
- 「自分次第で、その先の人生が変わってくる。」
- 「どれだけ本気になれるか、それに尽きる。」
- 「結局、良い経験も悪い経験も絶対に自分にとってプラスになる。」

石川選手は、世界最高峰のイタリア・セリエAのバレーボールリーグに挑戦して10年。苦難を乗り越え、今や実力選手と認められています。この石川選手の言葉は、まさに「挑戦で人生を変える」ための名言だと思います。

生徒の皆さんは、この石川選手の言葉を胸に刻み、自分の人生の為に、資格取得や部活動で好成績など、何かに、真剣に「挑戦」をする「夏休み」にしてほしいです。



【夏休み後「生徒集会」8月26日の話より抜粋】

パリ・オリンピックで柔道女子48kg級で、ともえ投げ、あるいは、関節技で一本を取る技で金メダルを獲得した角田夏実選手の努力に感動しました。

彼女は表彰式で、金メダルを首にかけて表彰台に立って、国歌が流れたとき、大粒の涙が止まらなかった。今回、表彰式で泣いた日本のメダリストは、彼女だけ。それだけ感極まるものがあったのだと思います。表彰式後のインタビューでは「諦めず戦ってきて、良かった。」

角田選手は、学生時代は無名→社会人で柔術と巴投げ→階級変更による減量苦という逆境に耐え→世界一に！この角田選手の努力は世界一だと思います。

生徒の皆さんも、これからの人生のために、亀田選手のように、「あきらめず」→「新たな挑戦」→「耐えて」→「達成」→「涙」をしてほしいと思います。



▶本校ホームページのご案内

<https://ibaraki-t.ed.jp/teiji>

在校生・保護者の方へのページに進むと

「年間行事予定」があります！是非！アクセス！

